

2021(令和3)年度事業報告

特定非営利活動法人市民共同発電をひろげる城陽の会事業方針

- ・公的施設及び個人宅に再生可能(自然)エネルギーによる発電事業がひろがるよう要請や啓発活動を行い、その実現を図る。また、行政支援の拡充を要請し、その実現を図る。
- ・市民共同発電所をつくり、ひろげるために屋根の提供と資金拠出できる協力者を募る。資金を集め、会計実務をする。
- ・環境問題に関する啓発事業に取り組む。

特定非営利活動にかかる事業(単位千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
再生可能エネルギーによる発電設備設置と支援、借入金返済実務	・宇治市五ヶ庄社会福祉法人と21年度再見積と京都府自立型再エネ設備導入補助事業適用をめざすことで合意 20kW弱+ヘムス+蓄電池セット 秋から見積もり、検討再開	10月5日 11月8日 12月14日	宇治市五ヶ庄二番割	8名	宇治市五ヶ庄 110名	
	・個人宅太陽光発電設備、蓄電池ゼロ円システム募集	5~11月			会員155名	
	・1~11号機設置協力金元金と利息を拠出者に返済実施	4月~翌年3月	城陽、京田辺 宇治	8名	城陽市近隣の 拠出者79名	振込10.5 郵送1
環境問題の啓発・持続可能なまちづくりをめざす事業 情報発信①	「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」宣言を求める要望書を城陽市長に提出 会員には行政に求めること、自分ですること等の声募集 市の回答「適切な時期に宣言することを検討」	6月28日 7月12日	城陽市役所	8名	城陽市 75,800名	
	「城陽市の脱炭素社会に関するお尋ねと要望」市長に提出 市の回答 ・適切な時期に「宣言」を検討 ・再エネ、省エネへの具体的な声・要望は共有、確認 ・2030年までの温室効果ガス46%削減計画は具体化なし ・市役所使用電力再エネ比率不明、より良い環境配慮検討	8月24日 10月13日	城陽市役所	8名	城陽市 75,800名	

	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯LED化前進、雨水タンク等の補助継続 ・再エネ普及と地域の安全・安心、住民の参画を考慮したメガソーラー建設等のルールになる条例づくりの予定はなし ・市長ゼロカーボンシティ宣言 	11月27日				
環境問題の啓発・持続可能な②	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会講師活動「これからの再エネ 卒FITを迎えて」 京田辺原発ゼロプログラム主催 	11月27日	京田辺社会福祉センター	2名	京田辺・井出 24名	
環境問題の啓発・持続可能なまちづくりをめざす事業 情報発信③	<ul style="list-style-type: none"> ・「白熱電球とLED電球の無料交換会」LED電球84個交換 白熱球99個、蛍光灯18個回収 効果は年間10万kWh節電、CO2を4.7tカット相当分節電、3.3kW太陽光発電設備3軒分と同等効果 ・ハガキ等で事前申込実施 ・コロナ対策で5グループに分け10分間学習の後、交換 	2月27日	城陽市青谷 コミセン	8名	城陽、宇治、 京都、木津川 84名	通信費33.7 印刷24.0 消耗品10.5 会場費9.9 その他44.3 地図1.2 租税0.6
情報発信④	ホームページ追加編集作業	30回	八幡市 マイコン研究会	2名	不特定	通信1.9 旅費9.5
情報発信⑤	再エネ重視新電力紹介8社紹介 卒FIT買取先会社34社紹介	7月7日 2月1日	ニュース及び HP	8名	不特定	
情報発信⑥	1号～50号他合本化 世話になった方々や市民共同 発電所運動に関心ある団体、 機関等に寄贈	年度内		8名	100団体	印刷100
会員内部 情報	・会のニュース発行他 44号、45号、46号、47号、48号 49号、50号	5/20 6/1 7/7 9/2 12/1 2/1 3/7		8名	城陽、京田辺 宇治、久御山、 木津川、八幡 京都 155名	消耗31.0 印刷15.4
書籍普及	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ、省エネ・節電等温暖化防止関連書籍普及 グレタの願い3冊、グレタ1人 ストライキ、石炭火力Q&A、イモが 日本を救う、脱原発のための 節電所3冊、電力自由化入門 	随時	総会、イベント、 講演会会場	8名	不特定	書籍購入7

